学年:	4年生	Stage:	StageⅢ	コード:	O4205	単位:	1.7
モジュール名	障害者歯科学			科目担当責任者	小松 知子		
モジュール名（英字）	Special Needs Dentistry			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標（GIO）	障害者や特殊疾患患者の歯科治療では患者管理や治療そのものに特別な配慮と工夫を必要とする。その際に必要な身体的および精神・心理学的特性と特有の口腔機能障害についての知識や対応を理解する。また、最近の話題の中心である口から食べる機能についての知識も修得する。そして、障害者の医学的背景のみならず、福祉など社会的問題も理解し、障害者に対する誤った先入観や偏見を払拭し、人としての普通の態度で障害者に接することを修得する。						
ユニット：一般目標	1. 障害者歯科学総論 障害および障害者の定義、実態、ノーマライゼーション、身体障害、知的障害、精神障害などを説明できる。 2. 障害者歯科における行動調整 スペシャルニーズのある患者の状態に応じた行動調整法を実施するためにその必要性とその方法について理解し、説明できる。 3. 障害の種類とその特徴および対応 種々の障害とその全身的特徴、口腔の特徴、およびその対応法について理解し、説明できる。 4. 障害児・者の摂食嚥下機能障害とリハビリテーション 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。障害児・者に起こりやすい摂食嚥下障害の症状、特徴、およびリハビリテーションについて理解し、説明できる。 5. 障害者歯科診療における工夫・リスク管理 障害者歯科診療における障害特性を理解した上での工夫、対応を理解し、説明できる。障害者歯科診療におけるリスク管理について理解し、説明できる。 6. 障害者歯科診療と歯科保健指導 障害者の歯科診療時の注意事項を説明できる。障害者に対する歯科保健指導や刷掃指導を理解し、説明できる。						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシーCP	CP1,CP2,CP3
	a / b / a	b / b / a	a / b / b		

a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目　b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目
c:学習成果を上げるために履修する科目

教科書等　記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど
教 1/ スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科/ 日本障害者歯科学会/ 医歯薬出版 教 2/ 新版　歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学/ 向井美惠, 山田良秋ほか/ 医歯薬出版

評価方法

出　欠　席	履修ガイドに準じる。						
モジュール試験(%)	70	多肢選択肢問題による客観的試験を実施する。 モジュール試験前にすべての補完は修了していること。					
アクティビティ(%)	30	レポートで評価する。課題と提出期限は講義中に担当教員が提示する。					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				30			
再試験の評価方法	多肢選択肢問題による客観式試験により再評価を行う。 詳細は、履修ガイドに準ずる。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	非該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_001_8/31_1	2026/08/31	1		講義	12番教室	60
ユニット	障害者歯科学総論					
サブユニット	障害の概念と定義、 障害者の定義と実態					
授業目標	1)障害の概念およひ?障害者の定義を説明て?きる。 2) 障害者の定義と実態について説明できる。 3)障害の種類を説明て?きる。 4) 国際障害分類・国際生活機能分類を説明て?きる。 5)ノーマライセ?ーション、ハ?リアフリーなと?の用語を説明て?きる。					
キーワード	障害、障害者、知的障害、身体障害、精神障害、発達障害、国際障害分類(ICIDH)、国際生活 機能分類(ICF)、ノーマライセ?ーション、ハ?リアフリー、インテク?レーション、インクルージョン、QOL、ADL、IADL					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp2-8, p19-22, p328-329 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	C-4-3-2,C-4-3-4					
国試出題基準(令和5年)	必修2-ア-a,必修2-ア-b,必修2-ア-c,必修2-ア-d,必修2-ア-e,総論Ⅰ-1-ア-d,総論Ⅴ-3-ア,総論Ⅴ-3-イ-a,総論Ⅴ-3-イ-b,総論Ⅴ-3-イ-c,総論Ⅴ-3-イ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_002_8/31_2	2026/08/31	2		講義	12番教室	60
ユニット	障害者歯科学総論					
サブユニット	障害者の福祉と法律、 障害の受容、 障害者歯科の定義・目的・歴史、 チーム医療、 地域歯科医療連携					
授業目標	1)障害者に関する福祉と法律について説明できる。 2)障害の受容について説明できる。 3)チームアプローチについて説明できる。 4)職種の役割について説明できる。 5)障害者歯科医療システム・地域歯科医療連携について説明できる。 6)障害者歯科における社会福祉や地域医療の役割について説明できる。 7)障害者歯科の定義、役割を説明できる。					
キーワード	障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害の受容、障害者歯科、チームアフ?ローチ、地域歯科医療連携、一次医療、二次医療、三次医療、地域医療、社会福祉					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp 6-17, p23-25, p31-33 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	C-4-3-2,C-4-3-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅰ-2-カ-a,総論Ⅰ-2-カ-b,総論Ⅰ-2-カ-c,総論Ⅰ-2-カ-d,総論Ⅰ-2-カ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_003_9/3_2	2026/09/03	2		講義	12番教室	60
ユニット	障害者歯科における行動調整					
サブユニット	行動調整法、 行動療法					
授業目標	1)行動調整法の概要について説明できる。 2)行動変容法の種類とその内容を説明できる。					
キーワード	行動変容法、系統的脱感作、Tell-Show-Do法、モデリング、フラッディング、オペラント条件付け、シェイピング、ボイスコントロール					
担当	小松 知子					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp208-244 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-8-2
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-ウ,総論Ⅴ-3-エ,各論Ⅴ-8-ア-a,各論Ⅴ-8-ア-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_004_9/3_3	2026/09/03	3		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	障害者歯科における行動調整					
サブユニット	薬物的行動調整法、 物理的な体動調整法					
授 業 目 標	1)薬物的行動調整法の種類とその内容を説明できる。 2)物理的な体動調整法の種類とその内容を説明できる。					
キーワード	前投薬、亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔法、物理的な体動調整法					
担　　当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp208-244 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-ウ,総論Ⅴ-3-エ,各論Ⅴ-8-ア-a,各論Ⅴ-8-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_005_9/3_4	2026/09/03	4		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	知的障害(知的能力障害)、発達スクリーニング検査					
授 業 目 標	1)ICD(疾病及び関連保健問題の国際統計分類)について説明て?きる。 2)DSM-5(精神障害の診断と統計マニュアル)について説明て?きる。 3) 発達の評価について説明て?きる。 4)知的障害の定義、疫学、症状、対応について説明て?きる。					
キーワード	ICD、DSM-5、知的障害、発達年齢、発達スクリーニング検査、知能検査、知能指数					
担　　当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp40-47 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-3,E-5-7-1,E-5-7-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-エ,総論Ⅴ-3-オ,各論Ⅴ-8-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_006_9/10_2	2026/09/10	2		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	自閉スペクトラム症					
授 業 目 標	1)自閉スペクトラム症の定義、疫学、症状、対応について説明できる。					
キーワード	自閉スペクトラム症					
担　　当	高満 幸宜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp48-52, p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,E-5-7-1					

国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-2-オ-a,総論Ⅴ-2-オ-b,総論Ⅴ-2-オ-c,各論Ⅴ-8-ア-a,各論Ⅴ-8-ア-b,各論Ⅴ-8-イ-a,各論Ⅴ-8-イ-b,各論Ⅴ-8-イ-c,各論Ⅴ-8-ウ,各論Ⅴ-8-エ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_007_9/10_3	2026/09/10	3		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	自閉スペクトラム症、限局性学習障害、注意欠如・多動性障害					
授業目標	1)自閉スペクトラム症とその対応について説明できる。 2)限局性学習障害の定義、疫学、症状、対応について説明できる。 3)注意欠如・多動性障害の定義、疫学、症状、対応について説明できる。					
キーワード	発達障害、限局性学習障害(LD)、注意欠如・多動性障害(ADHD)、自閉スペクトラム症					
担当	高満 幸宜					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp48-55, p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,E-5-7-1					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅴ-8-ア-a,各論Ⅴ-8-ア-b,各論Ⅴ-8-イ-a,各論Ⅴ-8-イ-b,各論Ⅴ-8-イ-c,各論Ⅴ-8-ウ,各論Ⅴ-8-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_008_9/10_4	2026/09/10	4		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	てんかん					
授業目標	1)てんかんの定義、疫学について説明できる。 2)てんかん患者の全身及び口腔の症状について説明できる。 3)歯科治療時の対応について説明できる。					
キーワード	てんかん発作、フェニトイン性歯肉増殖症					
担当	高野 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp93-105, p147-152, p156-159, p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,D-5-8-3,E-5-7-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-オ,各論Ⅴ-8-ア-a,各論Ⅴ-8-ア-b,各論Ⅴ-8-イ-a,各論Ⅴ-8-イ-b,各論Ⅴ-8-イ-c,各論Ⅴ-8-ウ,各論Ⅴ-8-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_009_9/17_2	2026/09/17	2		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	視覚障害、聴覚障害、音声言語障害、他					
授業目標	1)視覚障害の定義、疫学、症状、対応について説明できる。 2)聴覚障害の定義、疫学、症状、対応について説明できる。 3)言語障害(構音障害)の定義、疫学、症状、対応について説明できる。 4)失語症の定義、症状、対応について説明できる。					
キーワード	視覚障害、聴覚障害、伝音性難聴、感音性難聴、言語障害、構音障害、失語症					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp106-116, p120-126, p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,D-5-8-3,E-5-7-1,E-5-7-2					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅴ-1-カ,各論Ⅴ-8-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_010_9/17_3	2026/09/17	3		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	運動障害の概念、脳性麻痺					
授業目標	1)運動障害について説明できる 2)脳性麻痺の定義、疫学、症状について説明できる。					
キーワード	運動障害、運動麻痺、アテトーゼ型脳性麻痺、痙直型、原始反射、不随意運動					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1の教科書1のp58-62,　p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,D-5-8-3,E-5-7-1,E-5-7-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-ｴ,総論Ⅴ-3-ｵ,総論Ⅴ-6-ｱ-b,各論Ⅴ-8-ｱ-a,各論Ⅴ-8-ｱ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_011_9/17_4	2026/09/17	4		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	脳性麻痺、重症心身障害					
授業目標	1)脳性麻痺への対応について説明できる。 2)重症心身障害の定義、疫学、症状、対応について説明できる。					
キーワード	姿勢緊張調整パターン、重症心身障害、大島の分類					
担当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp63-70, p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,D-5-8-3,E-5-7-1					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-ｴ,総論Ⅴ-3-ｵ,各論Ⅴ-8-ｱ-a,各論Ⅴ-8-ｱ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-a,各論Ⅴ-8-ｲ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_012_9/24_2	2026/09/24	2		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	先天異常、症候群					
授業目標	1)先天異常の発生要因について説明できる。 2)主な先天異常や症候群について説明できる。 3)Down症候群の定義、疫学、症状、対応について説明できる。					
キーワード	鎖骨頭蓋異形成症(鎖骨頭蓋異骨症)、MaCune-Albright症候群(多骨性線維性骨異形成症)、Treacher Collins症候群(下顎顔面異骨症)、 Crouzon症候群(頭蓋顔面異骨症)、 第一第二鰓弓症候群(Goldenhar症候群を含む)、 Apert症候群(尖頭合指症)、Papillon-Lef?vre症候群、Von Recklinghausen病(神経線維腫症)、 Sturge-Weber症候群、Rumsay-Hunt症候群(Hunt症候群)、Beck-Wiedimann症候群(EMG症候群)、Down症候群、骨形成不全症					
担当	小松 知子,池田 正一					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp168-199 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-3-1-1-1					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅰ-1-ｱ-a,各論Ⅰ-1-ｱ-b,各論Ⅰ-1-ｲ-a,各論Ⅰ-1-ｲ-b,各論Ⅰ-1-ｲ-c,各論Ⅰ-1-ｲ-d,各論Ⅰ-1-ｲ-e,各論Ⅰ-1-ｲ-f,各論Ⅰ-1-ｳ-a,各論Ⅰ-1-ｳ-b,各論Ⅰ-1-ｳ-c,各論Ⅰ-1-ｳ-d,各論Ⅰ-1-ｳ-e,各論Ⅰ-1-ｴ-a,各論Ⅰ-1-ｴ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)

O4205_013_9/24_3	2026/09/24	3		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	先天性心疾患、筋ジストロフィー、医療的ケア児、他					
授業目標	1)先天性心疾患とその対応について説明できる。 2)筋ジストロフィーの定義、疫学、症状、対応について説明できる。 3) 医療的ケア児の定義、疫学、症状、対応について説明て?きる。					
キーワード	先天性心疾患、心室中隔欠損、心房中隔欠損、Fallot四徴症、感染性心内膜炎、筋ジストロフィー、医療的ケア児					
担　当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp163-167, p277-315 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1,D-5-8-3,E-5-7-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-ｴ,総論Ⅴ-3-ｵ,総論Ⅴ-6-ｱ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_014_9/24_4	2026/09/24	4		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	精神疾患(認知症、統合失調症、双極性障害、他)					
授業目標	1)認知症とその対応について説明できる。 2)統合失調症とその対応について説明できる。 3)双極性障害とその対応について説明できる。					
キーワード	アルツハイマー病、脳血管性認知症、Levy小体型認知症、前頭側頭型認知症、統合失調症、双極性障害、うつ病					
担　当	高野 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp147-162 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-7-2,D-5-7-6,E-5-6-6					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅳ-1-ｸ,総論Ⅴ-6-ｱ-f,総論Ⅴ-6-ｱ-g,各論Ⅴ-1-ｲ-a,各論Ⅴ-4-ｱ-b,各論Ⅴ-4-ｴ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_015_9/28_1	2026/09/28	1		講義	12番教室	60
ユニット	障害者歯科医療におけるリスク管理					
サブユニット	障害者歯科医療におけるリスク管理					
授業目標	1)障害児・者の歯科医療における工夫について説明できる。 2) 障害児・者の歯科医療におけるリスク管理について説明できる。					
キーワード	リスク評価、安全管理					
担　当	小松 知子,小笠原 正					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp269-276, p316-327 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-2,D-5-8-3					
国試出題基準(令和5年)	必修2-ｶ-a,必修2-ｶ-b,必修2-ｶ-c,必修2-ｶ-d,必修2-ｶ-e,必修2-ｶ-f,必修2-ｶ-g					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_016_9/28_2	2026/09/28	2		講義	12番教室	60
ユニット	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	脊髄損傷、脳血管障害、他					

授 業 目 標	1)脳血管障害の定義、種類とその特徴について説明できる。 2)脳血管障害の対応について説明できる。 3)脊髄損傷の定義、疫学、症状、対応について説明できる。 4)高次脳機能障害の定義、疫学、症状、対応について説明できる。
キーワード	脳血管障害(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、錐体路障害、高次脳機能障害(失語、失認、失行、感覚障害)、抗血栓療法、脊髄損傷
担　　当	小松 知子
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 　教科書1のp71-73, p81-92 事後学修 　講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-7-2,D-5-7-6,D-5-8-1,D-5-8-3
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-5-ア-a,総論Ⅴ-5-イ-d,総論Ⅴ-6-ア-g

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_017_9/28_3	2026/09/28	3		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	障害の種類とその特徴および対応					
サブユニット	Parkinson 病、関節リウマチ、他					
授 業 目 標	1)Parkinson 病の定義、疫学、症状、対応について説明できる。 2)関節リウマチの定義、疫学、症状、対応について説明できる。					
キーワード	Parkinson 病、関節リウマチ					
担　　当	小松 知子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 　教科書1のp 74-81, p 277-315 事後学修 　講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-7-2,D-5-7-6					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅳ-1-ク,総論Ⅴ-6-ア-g,各論Ⅴ-4-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_018_9/28_4	2026/09/28	4		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	摂食嚥下機能療法学					
サブユニット	発達期の摂食嚥下機能の評価と対応1					
授 業 目 標	1) 摂食嚥下機能の発達について説明できる。 2)発達期の摂食嚥下障害について説明できる 3) 発達期の摂食嚥下障害の対応法を説明できる。					
キーワード	摂食嚥下機能獲得段階、摂食嚥下機能評価、間接訓練、直接訓練					
担　　当	小松 知子,弘中 祥司					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 　教科書1のp127-146, 　教科書2のp9-15, 21-27, 38-45 事後学修 　講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-5					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅴ-7-ア-a,各論Ⅴ-7-ア-b,各論Ⅴ-7-イ,各論Ⅴ-7-ウ,各論Ⅴ-7-エ,各論Ⅴ-7-オ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_019_10/1_2	2026/10/01	2		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	摂食嚥下機能療法学					
サブユニット	中途障害者の摂食嚥下機能の評価					
授 業 目 標	1)摂食嚥下機能の評価に関して説明できる。 2)摂食嚥下機能の検査項目を説明できる。					
キーワード	摂食嚥下機能評価、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、RSST、食物テスト、水飲みテスト					

担　　当	野口 毅
学修範囲（事前事後学修）	事前学修範囲 　教科書1のp127-146, 　教科書2のp9-15, 21-27, 38-45 事後学修 　講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-7-8,D-5-8-5,E-5-6-4
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-5-イ-e,総論Ⅴ-5-イ-i,各論Ⅴ-7-ア-a,各論Ⅴ-7-ア-b,各論Ⅴ-7-イ,各論Ⅴ-7-ウ,各論Ⅴ-7-エ,各論Ⅴ-7-オ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_020_10/1_3	2026/10/01	3		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	摂食嚥下機能療法学					
サブユニット	中途障害者の摂食嚥下機能への対応					
授 業 目 標	1)摂食嚥下機能障害の病態について説明できる。 2)摂食嚥下機能障害への対応について説明できる。					
キーワード	認知期障害、準備期障害、口腔期障害、咽頭期障害、食道期障害、摂食機能療法、間接訓練、直接訓練					
担　　当	野口 毅					
学修範囲（事前事後学修）	事前学修範囲 　教科書1のp127-146, 　教科書2のp9-15, 21-27, 38-45 事後学修 　講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-7-8,E-5-6-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-5-イ-e,総論Ⅴ-5-イ-i,各論Ⅴ-7-ア-a,各論Ⅴ-7-ア-b,各論Ⅴ-7-イ,各論Ⅴ-7-ウ,各論Ⅴ-7-エ,各論Ⅴ-7-オ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_021_10/1_4	2026/10/01	4		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	障害者への歯科保健指導					
サブユニット	障害者への歯科保健指導					
授 業 目 標	1) 障害者への外来診療での歯科保健指導について説明できる。 2)障害者への訪問診療での歯科保健指導について説明できる。					
キーワード	歯科保健指導、PMTC、刷掃指導、口腔のケア、 訪問診療					
担　　当	松澤 直子					
学修範囲（事前事後学修）	事前学修範囲 　教科書1のp245-276 事後学修 　講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-8-4,E-5-7-1					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-カ,各論Ⅴ-8-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_022_10/8_2	2026/10/08	2		講義	12番教室	60
ユ ニ ッ ト	障害者歯科学研究					
サブユニット	障害者歯科学臨床・基礎研究の現況					
授 業 目 標	1)障害者歯科学・摂食嚥下機能療法学分野の臨床研究を理解する。 2) 障害者歯科学・摂食嚥下機能療法学分野の基礎研究を理解する。					
キーワード	Down症候群、歯周病、フレイル、オーラルフレイル、唾液、栄養、遺伝子疾患、活性酸素種、酸化ストレス					
担　　当	小松 知子,李 昌一					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp269-276, p316-327 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-8-1
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅴ-3-ｶ,各論Ⅴ-8-ｳ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_023_10/8_3	2026/10/08	3		講義・レポート	12番教室	60

ユニット	振り返り
サブユニット	障害者歯科診療の実際（症例供覧）
授業目標	1）障害者の歯科診療について理解する。 2）障害者の保健指導について理解する。
キーワード	今までの全てのキーワード
担当	小松 知子
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1のp239-244, p 245-276, p 316-326 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-3-1-1-1,D-5-7-6,D-5-7-8,D-5-8-1,D-5-8-2,D-5-8-3,D-5-8-4,D-5-8-5,E-5-6-4,E-5-6-6,E-5-7-1,E-5-7-2
国試出題基準(令和5年)	必修2-ｱ-a,必修2-ｱ-b,必修2-ｱ-c,必修2-ｱ-d,必修2-ｱ-e,必修6-ｱ-b,総論Ⅴ-3-ｱ,総論Ⅴ-3-ｲ-a,総論Ⅴ-3-ｲ-b,総論Ⅴ-3-ｲ-c,総論Ⅴ-3-ｲ-d,総論Ⅴ-3-ｳ,総論Ⅴ-3-ｴ,総論Ⅴ-3-ｵ,総論Ⅴ-3-ｶ,総論Ⅴ-5-ｱ-a,総論Ⅴ-5-ｲ-a,総論Ⅴ-5-ｲ-b,総論Ⅴ-5-ｲ-c,総論Ⅴ-5-ｲ-d,総論Ⅴ-5-ｲ-e,総論Ⅴ-5-ｲ-f,総論Ⅴ-5-ｲ-g,総論Ⅴ-5-ｲ-h,総論Ⅴ-5-ｲ-i,総論Ⅴ-6-ｱ-g,各論Ⅴ-1-ｱ-a,各論Ⅴ-1-ｱ-b,各論Ⅴ-1-ｱ-d,各論Ⅴ-1-ｱ-e,各論Ⅴ-1-ｲ-a,各論Ⅴ-1-ｳ-a,各論Ⅴ-1-ｳ-b,各論Ⅴ-1-ｳ-c,各論Ⅴ-4-ｱ-a,各論Ⅴ-4-ｱ-b,各論Ⅴ-4-ｱ-e,各論Ⅴ-7-ｱ-a,各論Ⅴ-7-ｱ-b,各論Ⅴ-7-ｲ,各論Ⅴ-7-ｳ,各論Ⅴ-7-ｴ,各論Ⅴ-7-ｵ,各論Ⅴ-8-ｱ-a,各論Ⅴ-8-ｱ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-a,各論Ⅴ-8-ｲ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-c,各論Ⅴ-8-ｳ,各論Ⅴ-8-ｴ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4205_024_10/8_4	2026/10/08	4		講義・レポート	12番教室	60

ユニット	振り返り
サブユニット	障害者歯科診療の実際（症例供覧）、振り返り授業
授業目標	1）障害者の歯科診療について理解する。 2）全範囲について復習し、自分の理解度を確認する。
キーワード	今までの全てのキーワード
担当	小松 知子
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書1の全て, 教科書2のp 9-15, 21-27, 38-45 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-3-1-1-1,D-5-7-2,D-5-7-6,D-5-7-8,D-5-8-1,D-5-8-2,D-5-8-3,D-5-8-4,D-5-8-5,E-5-6-4,E-5-6-6,E-5-7-1,E-5-7-2
国試出題基準(令和5年)	必修2-ｱ-a,必修2-ｱ-b,必修2-ｱ-c,必修2-ｱ-d,必修2-ｱ-e,必修3-ｱ-a,必修3-ｱ-b,必修3-ｱ-c,必修3-ｱ-d,必修3-ｱ-e,必修3-ｱ-f,各論Ⅰ-1-ｱ-a,各論Ⅰ-1-ｱ-b,各論Ⅰ-1-ｲ-a,各論Ⅰ-1-ｲ-b,各論Ⅰ-1-ｲ-c,各論Ⅰ-1-ｲ-d,各論Ⅰ-1-ｲ-e,各論Ⅰ-1-ｲ-f,各論Ⅰ-1-ｳ-a,各論Ⅰ-1-ｳ-b,各論Ⅰ-1-ｳ-c,各論Ⅰ-1-ｳ-d,各論Ⅰ-1-ｳ-e,各論Ⅰ-1-ｴ-a,各論Ⅰ-1-ｴ-b,各論Ⅴ-1-ｱ-a,各論Ⅴ-1-ｱ-b,各論Ⅴ-1-ｱ-c,各論Ⅴ-1-ｱ-d,各論Ⅴ-1-ｱ-e,各論Ⅴ-1-ｲ-a,各論Ⅴ-1-ｳ-a,各論Ⅴ-1-ｳ-b,各論Ⅴ-1-ｳ-c,各論Ⅴ-1-ｴ-a,各論Ⅴ-1-ｴ-b,各論Ⅴ-1-ｵ,各論Ⅴ-1-ｶ,各論Ⅴ-2-ｱ-a,各論Ⅴ-2-ｱ-b,各論Ⅴ-2-ｲ-a,各論Ⅴ-2-ｲ-b,各論Ⅴ-2-ｲ-c,各論Ⅴ-2-ｲ-d,各論Ⅴ-2-ｳ-a,各論Ⅴ-2-ｳ-b,各論Ⅴ-2-ｳ-c,各論Ⅴ-2-ｴ-a,各論Ⅴ-2-ｴ-b,各論Ⅴ-2-ｴ-c,各論Ⅴ-2-ｴ-d,各論Ⅴ-2-ｴ-e,各論Ⅴ-2-ｴ-f,各論Ⅴ-2-ｴ-g,各論Ⅴ-2-ｴ-h,各論Ⅴ-2-ｴ-i,各論Ⅴ-2-ｴ-j,各論Ⅴ-2-ｴ-k,各論Ⅴ-2-ｴ-l,各論Ⅴ-2-ｴ-m,各論Ⅴ-2-ｵ,各論Ⅴ-3-ｱ-a,各論Ⅴ-3-ｱ-b,各論Ⅴ-3-ｱ-c,各論Ⅴ-3-ｱ-d,各論Ⅴ-3-ｱ-e,各論Ⅴ-3-ｲ-a,各論Ⅴ-3-ｲ-b,各論Ⅴ-3-ｲ-c,各論Ⅴ-3-ｲ-d,各論Ⅴ-3-ｲ-e,各論Ⅴ-4-ｱ-a,各論Ⅴ-4-ｱ-b,各論Ⅴ-4-ｱ-c,各論Ⅴ-4-ｱ-d,各論Ⅴ-4-ｱ-e,各論Ⅴ-4-ｱ-f,各論Ⅴ-4-ｲ-a,各論Ⅴ-4-ｲ-b,各論Ⅴ-4-ｲ-c,各論Ⅴ-4-ｲ-d,各論Ⅴ-4-ｲ-e,各論Ⅴ-4-ｳ,各論Ⅴ-4-ｴ,各論Ⅴ-5-ｱ-a,各論Ⅴ-5-ｲ-a,各論Ⅴ-5-ｲ-b,各論Ⅴ-5-ｲ-c,各論Ⅴ-5-ｲ-d,各論Ⅴ-6-ｱ,各論Ⅴ-6-ｲ,各論Ⅴ-6-ｳ,各論Ⅴ-6-ｴ,各論Ⅴ-6-ｵ,各論Ⅴ-6-ｶ,各論Ⅴ-6-ｷ,各論Ⅴ-7-ｱ-a,各論Ⅴ-7-ｱ-b,各論Ⅴ-7-ｲ,各論Ⅴ-7-ｳ,各論Ⅴ-7-ｴ,各論Ⅴ-7-ｵ,各論Ⅴ-8-ｱ-a,各論Ⅴ-8-ｱ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-a,各論Ⅴ-8-ｲ-b,各論Ⅴ-8-ｲ-c,各論Ⅴ-8-ｳ,各論Ⅴ-8-ｴ,各論Ⅴ-9-ｱ-a,各論Ⅴ-9-ｱ-b,各論Ⅴ-9-ｱ-c,各論Ⅴ-9-ｲ